

北海道聖書学院 2019年度2学期 [8月30日(金)~11月15日(金)] 聴講のための授業科目のご案内

曜	科目名	講師・教師	授 業 内 容
火曜日	ギリシャ語文法③	小澤 和男師	週2回)ギリシャ語で書かれている新約聖書原典を読むために、基礎的な文法を学びます。 多くの時間と労力を要する学びですが、原典に接することで得られる恵みは、はかり知ることができません。
	キリスト教会史②	菜花 和男師	通年)教会はどこから来て、どこに立ち、どこに行こうとしているのか、「キリスト教2000年史」をテキストに、 古代・中世・近現代を一年で学ぶ。温故知新。歴史を鑑とする。
	ギリシャ語釈義③	小澤 和男師	文法を学んだ方が受講できます。神のみことばをまっすぐに解き明かすための備えとして、釈義の様々な手法を学びます。 単なる知識の習得に終わらず、救いの恵みの深さを味わうことを目標とします。
	中間時代 (2・3学期)	山本 門師	【隔週】「説教演習」と隔週で行います。授業日は二・三学期の9/3、9/17、10/1、10/15、10/29、11/5、12/3、1/28、2/25、3/10です。 旧約と新約の間の時代を「中間時代」といいます。この時代には、その歴史的な背景の中で、様々な制度や思想が生まれました。 まず、この時代の歴史を学び、その歴史から生まれた制度や思想などを概観し、 キリストの福音がどのような背景で語られたのかを考えます。
	教会音楽Ⅱ	加藤 嘉成師 加藤百合香師	教会音楽は礼拝行為であり、主を畏れ、主を崇め、主を喜びつつささげるものです。 主日礼拝での賛美について実際的なことを一緒に考え、学びましょう。 礼拝の中での賛美(会衆賛美、奏楽、聖歌隊など)を実践的に学びます。 また、楽譜が読めても読めなくてもできる練習方法についてご提案いたします。
水曜日	教会音楽Ⅰ (神学基礎)	遠藤 稔師	教会で使われる音楽、そして歌の内容について聖書を通して神様は私たちに多くのことを教えてくださっています。 聖書が教える教会音楽について、ひたすら聖書から学び分ち合うクラスです。初めての方でも参加できます。
	ヘブル語文法④	松元 潤師	週2回)旧約聖書の原典であるヘブル語聖書を読み、理解するための基礎的な文法の学びです。 すでに文法書第15課を学んでいますので、初めての方は3学期からご参加ください。
	旧約聖書通論②	吉田 浩二師	通年)創世記から小預言書までを3学期かけて学びます。各書を自分で読むことができるようになる「鍵」をお渡ししたいと思います。
	ヘブル語釈義②	松元 潤師	文法を学んだ方が受講できます。神のみことばをまっすぐに解き明かすための備えとして、釈義の様々な手法を学びます。 単なる知識の習得に終わらず、救いの恵みの深さを味わうことを目標とします。詩篇 1 篇他より。
木曜日	神論(全15週) 2学期10週 3学期5週	吉永 光生師	全15回の学びになります。二学期は9/5日~11/14の10週、三学期は11/28、12/5、12/12、1/23、1/30の5週。 聖書から、神がどのようなお方で(神の属性、近さと遠さ、三位一体等)、何をなさる/なさったお方か(計画、創造、摂理等)を学びます。 教理的知識なしに霊的健全さを保つことはできませんが、単なる知識を身に付けるのではなく、神に仕え、神を喜ぶことを目指します。
	教会教育	吉田麻希子師	主イエスが教えられた模範にならい、教会教育の大切さと原則を学びます。 中盤からはグループで、各年齢層に教えるクラスの具体的な計画をします。
	小預言書	松元ハンナ師	聖書で最も難解だと言われているハバクク書ですが、霊的苦難を神に訴える預言者ハバククのこぼれを通して、 試練の中を生きる信仰と、理不尽な状況に見えることにも神の約束の希望があることを学びたいと思います。
金曜日	ギリシャ語文法④	小澤 和男師	週2回)ギリシャ語で書かれている新約聖書原典を読むために、基礎的な文法を学びます。 多くの時間と労力を要する学びですが、原典に接することで得られる恵みは、はかり知ることができません。
	終末論	水草 修治師	まず「終末論」という用語の意味内容は神学的立場で相当に異なることを学びます。次に、終末論にかかわる 聖書の解釈原理を学び、これに基づいて聖書が教える個人と世界の終わりのことどもについて学びます。
	現代神学	水草 修治師	自由主義神学、弁証法神学、神の死の神学、解放の神学、宗教的多元主義などさまざまな神学を、これらの背景にある 近現代思想史から理解し、私たちの立つべき聖書の世界観を明らかにし、「教えの風に吹きまわされなくなる」ことを目的とします。
	共観福音書	小澤 和男師	共観福音書(マタイ、マルコ、ルカ)を読むとき、記事の寄せ集めという印象がつかまうかもしれません。 この学びでは、各福音書の構造を詳細に分析し、神がそれぞれの記者を通して いかに深い配慮と計画をもって書いてくださったのかを明らかにしていきます。
土曜日	新約聖書通論②	吉田麻希子師	通年)新約聖書の各書巻の背景を理解し、その内容を把握するための学びです。
	ヘブル語文法⑤	松元 潤師	週2回)旧約聖書の原典であるヘブル語聖書を読み、理解するための基礎的な文法の学びです。 すでに文法書第15課を学んでいますので、初めての方は3学期からご参加ください。
	教父学	菜花 和男師	キリスト教会史で教父についてさっと触れたところを掘り下げます。 小高毅「古代キリスト教思想家の世界 教父学序説」創文社、1984年をテキストにします。
	説教理論Ⅰ	菜花 和男師	説教理論の概要と、その基礎を学びます。 題目説教、聖句説教、講解説教の違いを理解し、それぞれの説教準備の手順を身につけます。
	詩篇	M.ヴィッドマー師	詩篇の文学的、神学的特徴に注目し、成典化に至った経緯と現代に生きる私たちへのメッセージを考察します。 神と教会、神と私たちの関係が詩篇によって更に深められることを目的とします。

※1 聴講を希望される方は、聴講願書にご記入の上、学院へご提出ください。所属教会の責任者の推薦が必要です。

(聴講願書は、同封いたしました。足りない場合は、コピーしてください。)

※2 聴講料は1科目につき、1学期間15,000円です。3回に分割して納入することもできます。(1ヶ月5,000円×3回)

複数の科目を聴講し、1ヶ月の聴講料が20,000円以上になる場合は、20,000円を超過した分は免除となります。